2018 年度 第 2 回 常任理事会議事録

日　時：2018 年 12 月 6 日(木)10:30～17:00
場　所：東京都千代田区内神田 3-24-5
エッサム神田 2 号館 401

Ⅰ．　開会　司会進行：大代専務

Ⅱ．　会長挨拶：生物学的に人間に生まれてくる確率は 1 億円の宝くじを 1 万回当てるに相当するそうです。人と人とのつながりに想いをよせました。親子、兄弟、夫婦、仲間、我々のつながりは感動と感謝しかありません、今年一年間のみなさまの当会と石材業界へのご協力に心から感謝申し上げます。

Ⅲ．　議事

1. 議長選出：中村卓史副会長　　議事録作成人：事務局 川本恭央
2. 定足数の確認：常任理事出席 36 名（37 名中）有効委任状 35 名（裏面参照）　監事出席 3 名（4 名中）顧問 0 名
事務局 3 名　　合計 42 名
3. 議事録署名人の指名：正副会長より山口氏及び監事犬塚氏を指名
4. 資料及び議題の確認　次第・資料・景品表示法冊子・石産協通信・３月東北地区全体会議チラシ
新議題の採択　新議題無　資料式次第訂正　裏　瀬川（議長）５票→中村（議長）５票
前回議事録の確認（メール配信済み）
5. 会議の進め方説明（グランドルール、チェックイン）
竹ノ内氏より説明　チェックイン　今日気になっていること、会議に期待することを話し、会議に入ります。

【審議事項】

（1）入退会について　入会　1 名　退会 21 名　　大代　資料 P1

大代氏より資料を元に説明あり。
上野：（入会推薦人として）都内の寺院を中心に活動、若い経営者です。
入会：　審議　反対０　　白票０　　賛成　可決
大代：　今回は会社を閉めるという理由です。
退会：　承認

（2）【加工部会】第 10 回石材加工講習会 10/25（埼玉）　　大川　資料 P7

大川氏より資料を元に説明あり。午前の座学は小川顧問、午後は埼玉県石材業協会技能士会で会長篠原氏、技能五輪優勝者篠原氏、小川技術顧問ご子息により技術指導をお願いし、ハンドポリッシャーと手加工の優秀者を表彰しました。決算は前回の京都を参考にしたためと参加数が予定よりも少なく、次回は同じことがないようにしていきます。
吉川：今回は初めての参加で座学と見学でしたが、次回は実技も体験したい。
審議　反対　０　白票　０　賛成　可決

（3）【加工部会】第 11 回石材加工講習会 2019/2/6（京都予定）　　大川　資料 P12

大川氏より資料を元に説明あり。京都の三和研磨工業㈱にてハンドポリッシャーと手動研磨機を使用するが、参加者の技量を見ながら手動研磨等の本格的な指導を行いたい。前回（埼玉）の決算との差異、受益者負担の考えから参加費を３０，０００円に予算変更しました。
射場：埼玉での申し送りで親組合にも声をかけてほしい。
大川：すでに声をかけています。
福川：従業員を参加させたいので、研修レベルを提示してほしいとの意見がありました。
大川：今後の課題であるが、同レベルの人が集まることは難しい。ほとんど横について、その人の技能に合わせマンツーマンの指導をしている。
審議　反対　０　白票　０　賛成　可決

（4）【墓石部会】墓石に関する消費者調査について＊2019 年度事業　　柴田　資料 P14

佐野：担当の柴田氏より説明をお願いします。（柴田氏より資料を元に説明あり）
柴田：２０１１年３月発行東京市町村自治調査会「都市と市町村とのかかわりに関する調査研究報告書」に都民は７割が平面墓地を必要としているとの結果が書かれていたため、自民党代議士と話をする機会に、なぜ、東京都は樹林墓地を進めているのかを答申した。政治家は墓埋法やお墓のことを全く理解していなかったが、我々の考えを伝える一つの資料となった。ところが、全日本墓園協会の講習会に参加した際、この調査の主幹だった狛江市福祉保健部健康推進課の平山さんの講演を聴いたが、参加している３分の２の行政向けに、全く違った切り取り方で説明していた。「都民は平面墓地かつ交通の便が良いところを求めているが、納骨堂（都のみたま堂）は個別性がないから嫌われた。それでは、

効率の悪い平面墓地はではなく、個別性があり、効率性の良い納骨堂があればよい、そういった墓地行政を進めていったらよい」と。議会を通しやすいからと遊休施設である学校等の施設を利用した納骨堂を勧めていた。同じ調査であっても使われ方は違うので、我々が調査を行い、答えを出さなくてはならないと思った。
上程は他団体から協賛は集めない方向。設問は今後、各所の意見を聞きながら進めたい。特に今回は、福祉という観点から結果を導き出したい。
福川：アンケートは全国からデータを集めたいので、その際は協力をお願いします。
審議　反対０　　白票１　　賛成　可決
＜白票＞谷合：このアンケートが行政にどれだけ影響があるのか疑問で白票をあげました。
柴田：マスコミでも最近簡素化の悪いところが取り上げあげられてきました。首都圏より地方から福祉の観点から動いていただきたい。動く方法も検討したい。
議長：来年度の事業でありますので準備をお願いしたい。

（5）【公正競争】公正競争推進委員メンバーについて　　白木　資料 P21

白木氏より資料を元に説明あり。
佐野：委員になるとどの程度の参加義務があるのか教えてほしい。
白木：一番の目的は新しい理事もいるので内容を知っていただくこと。委員会は月１回ですのでできるだけ参加、発起人会も各地区で行うので地元開催時には参加し、他の方の参加を促してほしい。
佐野：参加できればという答弁でしたが、年１回では理解できないと思います。ある程度強制力をもさせた方がよいと思います。
白木：ありがたい意見です。継続して理事会でも報告します。各支部、各地区でも説明、協賛金の協力もお願いします。
柴田：品質面において小売りはどこまで意見がいえるのか？小売りは評議員的な立場が良いのではないかと考えます。小売りが出ると消費者目線にならないのか。
白木：品質を上げるのではなく、品質について明らかにし、正しく表示するのが公正競争規約の目的。また、我々が作成したルールを消費者にとって良いものかを消費者庁が最終的に判断するもの。業界目線で作成しても進まない。
射場：出発点は外国の石材を国産として販売するなど虚偽を防止するため。クリーンで誤魔化しのない業界にするための第１歩とご理解いただきたい。
大塚：墓石の売上が落ちている理由に墓石業界の不透明さがある。消費者からお金を出してもらっている以上、そのために守る規約なら業界にとってのメリットなどではなく、避けては通れない。クリアすべきこと。
審議　反対　０　　白票　２　　賛成多数　可決
＜白票＞柴田：理事の委員会へのかかわり方が明確でない。
＜白票＞加藤：理事がすべて納得していないかたもいるので全員は考えた方が良い。

【協議事項】

（1）【公正競争】活動内容について（テーブル協議）　　白木　資料 25+別添冊子

白木氏より資料を元に説明あり。説明動画を鑑賞、景品表示法と公正競争規約パンフの内容説明。
当会の会員に対し、現在どの程度実行しているか、小売店中心にアンケートをとりたいと思います。
５班　製品であるガイドラインが必要。各部会で議論し決める。しっかりしているところが損をしないように消費者に広めてもらいたい。証明書を信頼。伝えることが大事。
６班　規約たたき台をつくるべきでありそこから当会員ができるか、良いものかを広めていくべき.
２班　スピード重視でいく。メリットを最優先する。小規模の石材店でもできるのか。
７班　小売店　大半は進めるべきである。最終目標は他商品のマークの石材版を取得したい。仏壇は業界では手間は増えたがクレームは少なくなった。自分の首をしめてはいけないが進めるべきである。
白木：石産協だけで進めるのではなく、業界全体で他の団体とも協力しながら進めたい。
射場：全優石や石製品は全て反対でなく、資料スライド１７番で準備委員会の発起人において参加をしないだけです。すべての業種の議論を１つのテーブルでするのではなくワーキンググループで進めていきます。

（2）定款変更　会員の種別ついて（テーブル協議）　　大代　資料 P26

大代氏より資料を元に説明あり。　訂正）入会審査基準⑤原石石材製品の輸入業
協議事項　①必要か不要か　理由　②所属について支部に入会義務があるのか、理由　③会費　営利、非営利で金額を

変えているが会費の金額は妥当か。
１班　①必要　②賛助会員の意思による参加　議決権無　③会費は同じ、または上げてもよい
２班　①半々　必要　賛助は石に関係がないので本人意向　③会費今まで通り　会員を増やす観点ではよい
４班　①営業目的は賛助でよい　賛助会員は関連部会　③案の通りまたは高くてよい　正会員と同様でもよい
②所属は関連部会　またはフリーでよいの２通り
５班　①必要　仲間が増える会費が増える　営業は節度をもってほしい　②支部には入らなくてよいが多いが多数
部会には所属、関連部会　③多く取った方がよい　会が繁栄するかが大切
６班　①全員あり　②法人本部に属する　個人は一般的なファンは増やす　③法人会費は高く　個人は安く
７班　①団体として認める　組織維持　会員獲得　②所属なしという意見と支部だけ認める　③営利であれば高く設
定してよいが多数
８班　①必要　②現在定款では所属無しになる　③会費は同額　個人会員は避けて営利と非営利だけ
大代：次回の正副で協議します。

【報告・周知・依頼事項】

(1)【東北地区】地区全体会議について　2019/3/1～2 山形　米本　当日配布
米本氏より資料を元に説明あり。山形は年により雪の影響がありますが、是非お越しください。会場の都合で最大６０名までしか入れませんので早めに申込ください。オブザーバーで住職へも案内済。

(2)【採石部会】第 2 回国産銘石アドバイザー研修　9/26～27 茨城　鶴田　資料 P32
鶴田氏・友常氏より資料を元に説明あり。（スライド使用）出川さんの視察が参考になりました。機械が稼働しているので声が聞き取りにくかったのと天候のせいで足元悪く、近くまでいけなかったのが残念。講演とロールプレイ形式も取りいれた。茨城県支部の素晴らしいおもてなしをいただいた。浄土真宗の寺院でも講和、石の百年館見学。

(3)【採石部会】第 3 回国産銘石アドバイザー研修　2019/3/6～7 岡山　鶴田　資料 P40
鶴田氏より資料を元に説明あり。案内を出しますので参加ください。岡山地区で視察地も会員企業を回り、非会員も入会促進を目的に視察したい。定員オーバーしそうです、小売店の方々が参加をしていただきたい。

(4)【墓石部会】第 2 回墓石部会（ﾃｰﾏ：信仰）10/5 立川　佐野　資料 P43
佐野氏より資料を元に説明あり。ソナエの赤堀さんに尽力をいただいた。２団体ともフレンドリーで好印象でした。両方とも現生利益、悩みが聞ける。アンケートを記載。部会会議も立川で開催、充実した内容でした。
柴田：両団体は対照的でした、対応が違うことも感じました。伸びている・伸びていないのか比較もできた。

(5)【墓石部会】第 3 回墓石部会（ﾃｰﾏ：樹木葬）2019/2/13 神田　佐野　資料 P50
佐野氏より資料を元に説明あり。鎌倉新書の講師をお願いしています。その後討議をして消費者に好まれている・好まれていないを検証したい。場所は神田です。

(6)【墓石部会】改葬改修ネットワークの募集について　佐野　資料 P54
佐野氏より資料を元に説明あり。名称を変更しました。登録フォームに記載、各自申し込んでください。石産協通信１月号にも案内同封予定。

(7)【墓石部会】終活ナビモニター募集について　佐野　資料 P56
佐野氏より資料を元に説明あり。「お助け終活ナビ」サイトが立ち上がり、当会へ協力要請があった。登録し、消費者からの質問に回答することで仕事につながる見込みもある。当初はモニター募集から無料対応のため、興味があれば自主的に申込みを。但し、地域はばらけさせたいので要相談。当社は申込み済。

（追加）【墓石部会】三団体協議会の報告　佐野　資料なし
佐野氏より説明あり。お墓の啓発事業について三団体で協力しておこなう協議会があり、射場会長、上野副会長、福川副会長と参加。当会の母の日参りやお墓まいりポスターを三団体と所属していない石材店にも配布したい考え。次回１月に情報を持ち寄りさらに協議する。
射場：お墓参りの日ポスターは来年度も当広報委員会が主幹で作成するが、各団体のロゴをいれず、所属していない個店に配布し、その費用を三団体で案分する。費用がかかる市場調査、消費者調査も足並みをそろえ協力したい考え。

(8)【輸入卸部会】日中墓石交流会　11/11 恵安　吉川　資料なし（次回資料提出）
吉川氏より説明あり。前日は麻城の視察。現在は日本への輸出はないが今後は日本企業と協力し、生産したい考え。交流会は日本の市場動向、中国の環境基準の報告。参加者は日本１３名、合計８０名。翌日は環境基準が高くなり厳しい

中国の状況などを聞いた。次回はみなさんへ案内、お誘いします。

(9)【お墓Ｄ委員会】1 級取得者研修会　2019/2/20 大阪～兵庫　小野　P62+当日チラシ

小野氏より資料を元に説明あり。大阪で研修、翌日兵庫県で見学。歴史家の田辺氏の話から石材店に元気になってほしい。セミナーは２時間。翌日は古くから新しい所を田辺氏の案内。２月２０日～２１日と彼岸前で厳しいのですが参加ください。一級取得者限定参加です。

(10)【お墓Ｄ委員会】第 15 回検定試験について　＊12/10(月)受付終了　小野　資料なし

小野氏より説明あり。理事会の出席の枠に取得者、未取得者を表示しています。現在１８１名程度で厳しいので理事の方は受検、声がけをお願いします。ホームページから申し込みはダウンロードできます。

(11)【予算編成委員会】次年度事業計画書及び予算書について＊1/10 提出期限　大代　資料 P66

大代氏より資料を元に説明あり。担当副会長からも伝えていますが事務局と副会長へ提出。1 月１０日期限。

(12)【総会】第 10 回定時総会について　2019/6/21(金)静岡　加藤　資料なし

加藤氏より説明あり。9 月より実行委員会を開催　会場はアソシア静岡　新幹線、飛行場あり、テーマは「継続と確信」～残すもの変えるもの・・～に決めて進めます。講師を会長の推薦森下端堂僧侶で、懇親会は座席形式でアトラクションは石屋出身の手品師か歌手の嘉門氏か検討中。

(13) Zoom の活用状況と今後について　竹ノ内　投影

竹ノ内氏より説明あり。協会でプロのアカウント取得部会、委員会、部会でも活用してほしい。事務局へ申請を。

佐野：skype と比べ回線が切れることがないので有効です。

白木：営業会議にストレスがなくなりました。時間削減、毎週月曜日朝礼を３営業所で同時に開催、携帯でも大丈夫。

三上:デメリットはありますがメリットは楽しくて面白い。会議以外でも活用可能、北海道支部会議でも活用。

佐野：web 会議開催のときに「会議中」など、参加要請お知らせがあるといい。４５分まではアカウント無しで無料。

(14) お墓 100 年プロジェクト 第 7 回フォトコンテスト協賛「日本石材産業協会賞」　大代　資料 P68

大代氏より資料を元に説明あり。継続事業で協賛。フォトは委員会での活用可能です。

(15) 災害見舞金支給について（11/15 締切：最終申請者数）　大代　資料 P71

大代氏より資料を元に説明あり。１０１通送り６４０，０００円災害対策積立金より拠出。辞退６名回答無３１名今後も迅速に対応します。災害対策積立金残は２，２５０，８３０円になります。

(16) 年会費未納者について　大代　資料 P72

大代氏より資料を元に説明あり。栃木県笹川石材店は本日入金あり、残り１４件です。

（追加）岡山　源福寺感謝状　小野　資料なし

７月の豪雨災害のボランティアに対し会と支部にいただけました。岡山支部小野氏より射場会長へ表彰状代読。県内６団体県外も参加、寺院から贈呈。

(17) 墓石の軽減税率について　射場　資料なし

射場氏より説明あり。２０１６年１月参議院予算委員会民主の水野議員が質疑で業界の陳情が増えるのではとの質問に対して安倍総理は陳情で政策をゆがめてはならない。関連団体である全葬連・全宗教ともに動きないため、石産協としては陳情などアクションをしていない。

(18) 災害お礼と中国地区会議開催について　藤井　資料なし

藤井氏より説明あり。義援金を広島県支部会員へお渡しできお礼を申し上げます。ありがとうございました。

本年度開催を延期、２０１９年１１月２１日・２２日広島駅前で地区会議を開催予定。

＜地区活動報告＞

三上：１２８年ぶりに積雪が遅い。震災の関係もあり仕事が忙しく支部活動ができていないが今後はしていきたい。今年は雪祭り１２月にエントリーしているが当選したら協力をお願いします。

瀬川：東北全体会議への参加お待ちしています。年３回支部会議を開催中、先月１０月２７日に青森むつ市で開催。公正取引も説明しました。

上野：北関東、南関東、信越。１２月１２日連絡会を開催。全体でオリンピックを応援していきたい特に五輪であるので五輪塔を活用したいＰＲしたい。五輪塔のトーチを掲げたい。

天野：連絡会２時間予定しているので有意義な会議、忘年会も楽しみです。

中川：奈良の燈花会に参加、金沢開催の正副にも参加。金沢は金沢城の修復で忙しい。私の近所では新幹線が通るため古墳の移転が２つありました。来年は不安です。

加藤：総会開催のお陰で会う機会が増え支部が活性化しています。東海地区の山口さんもお願いします。

水野：毎月第３火曜日ですでに１０回開催、よい雰囲気です。次は加工部会と合わせて支部長会議を開催、合同懇親会。１１月１０日京都支部で終活フェアを開催。３回目の継続事業、午後１０名。

笠井：年明けましたら支部長会議開催　来年の中四国大会に協力します。来週徳島県支部で定例会兼忘年会開催。個人的なことですが３月にフルマラソン挑戦、理事会で報告します。

玉田：年３回支部長会議、来年は沖縄開催予定。九州地区全体会議を他の地区と被らないように配慮し検討します。

＜部会活動報告＞

鶴田：先日、１０年ぶりに天山産地視察。産地疲弊の感じがするので業界の繁栄のために部会間で連携。

大川：上程議案がスムーズに承認されありがとうございます。２月６日は京都で水野副会長、竹ノ内委員長よろしくお願いします。部会ではアームロボットについて労働力確保の為に再度検討中です。

棚瀬：１月に名古屋市で部会会議、３月には博多で各地を回る予定。建築業界の需要は増えてきているが安定はしていない。２０２５年の大阪万博も追い風になるが、従業員募集しても若手がこない現状。

吉川：来年度の事業計画では他部会と連携、交流したい。

大塚：関連部会はセールス集団ではなく業界貢献を話しています。ストーンアシストで参加者、講演会も大成功でした。セミナー受講者からは学ぶ姿勢を感じました。セミナー等の学ぶ場が増えるのではないか。次回は力を集中させるために大運動会を開催したい。

＜委員会活動報告＞

吉野：委員会を北海道で支部と合同開催。地方からの発信を受け止めていきたい。LINE スタンプを構成中。石屋さんが使用しやすいコメントにしています。

能島：産地証明の発行限り国産銘石カタログを進めていますが写真が収集に苦戦。１つの石種に４点集めたい。サイズは２０００～３０００画素が欲しい。内容は産地丁場写真と墓石施工写真も所有者の許可も含めてほしい。地域の有名石建築物など、個別にお願いにあがります。

小野：ストーンアシストではマッサージ機を購入治療中。第１５回検定に申込みを促進のため、理事の方には来年はテキスト改定ですので今年受けていただきたい。委員会メンバーも募集しています。

長江：少子化について大切な女性経営者と跡取り娘プロジェクトも考え計画したい。日経新聞で事業継承を男性は３５％、女性は５８％です。町工場や花火職人を女性が継承。昭和女子大や明治大学も女性跡取りに対して文科省から補助をいただき研究している。終活セミナーでは私もエンディングノートの書き方講座を行政から生涯学習の観点から依頼がきています。当会でもそのような部分にも目を向けたい。一人暮らしに対しての社会貢献を考えていきたい。

チェックアウト（グループ内にて感想発表）

竹ノ内氏より説明　理事会で得られたことをテーブルで討議してください。

監事講評

斎藤：欠席

望月：公正競争規約を考えましょう。生活者へＰＲするための費用も考えければならない。

伯井：途中退席

犬塚：公正競争規約が協会らしい事業ですが理事においても理解の差がある。建築業法がない私達の業界で規制をつくるべきである。広告マンになるべきです。

閉会

2018 年 12 月 6 日

議事録署名人　：　山口　康二　　㊞

議事録署名人　：　犬塚　克明　　㊞

議　　長　：　中村　卓史

議事録作成人　：　川本恭央

2018年度 第２回 常任理事会　　2018年12月6日(木)10:30～

【協議事項】

2.定款変更　会員の種別ついて

	テーブル番号	メンバー	①賛成／反対	②所属	③会費	その他意見
1	墓石部会①	射場、瀬川、藤井、笠井、佐野、柴田、	必要で意見一致	フリーでよい	会費は一般と同じでよい	議決権はなし
			参加してくれない正会員より、協力してくれた方がよい	フリーでよいが担当副会長は作った方が良い	会費は現状と同じ	
			あまり関係ない業者はどうかと思う	支部、部会への所属は、なしでよい	会費は最低でも正会員	
			商売目的とはっきりした方が良い	参加したいところに参加すればよい	会費は同程度または、それ以上がよい	
					すでに会員との公平性のため、会費は正会員と同じが良い	
2	関連部会	山口、大塚、吉野、川本、竹ノ内、棚瀬	賛成：石に関係ないから	本人が入りたいところ	正会員と同じ、現状通り	
			賛成：受け皿をまず作り選択してもらう	関係ないから所属しなくてよい		
			賛成：会員が増える策	不要		
			反対：今のままでよい。むしろ有効活用する	現状通り		
			反対：非石材業が「ぜひ賛助会員を作ってほしい」というスタートではないから			
			反対：賛助の意味が分からない。会費が安いならよいが			
4	輸入・卸商部会	白木、吉川、米本、谷合	営業目的は賛助会員でOK			
			純粋に応援したい団体もあるので賛助会員のカテゴリーはOK			
			賛助会員は不要全て関連部会でよい。			
			営利・非営利は法人格で事務的判断でよいのでは			
			会員拡大につながる制度（審査基準）であればよい			重要なのか会の発展につながるかどうか

	テーブル番号	メンバー	①賛成／反対	②所属	③会費	その他意見
5	墓石部会②	上野、三上、天野。加藤、玉田、伯井	必要で意見一致	支部に所属しなくてもよいのでは	会費は多めにいただく	
			中間が増えるのは良い。違う目線	どこかに所属しなければならないのなら関連部会か？		
			会費を増やす、議決権はなし			
			広く門を開く			
			本人の意思で入会する（節度が必要）			
6	採石・加工	友常、鶴田、大川、小野、望月	あった方がよい。	支部、部会への所属はなしでよい	会費はもっと高くてよい	一般人のファンを増やす
			法人と個人にわける（墓女など、会費は安く）	本部に属せばよい	入会金ももらう	
					一班十は安くてOK	
7	墓石部会③	福川、金子、小柴、中川、大石	団体でサポーターとしてかかわっていきたいという法人であれば会員として認める	客観的な目で見ていただければよいので所属なし	会費は必要	
			入会してメリットがあるのか？	支部所属のみ認める	営利目的であれば少し高めに設定	
			会費獲得のために入会は歓迎			
8	墓石部会④	水野、森田、能島、井口、犬塚、長江	必要で意見一致	部会は自由でいい	同額もらうべき	個人会員を作ると抜け道になる。営利・非営利のみの区別でいい
				支部は入るべきか？自由でいい		

2018年度 第２回 常任理事会　　2018年12月6日(木)10:30～

【協議事項】

1.【公正競争】活動内容について

	テーブル番号	メンバー		意見
1	墓石部会①	射場、瀬川、藤井、笠井、佐野、柴田、	概ね賛成	基準は必要
				見積書などを発行していない石材店もあるので必要
				クレームも減っていく
				他団体が参加しない中で過半数とれるのか
				自信をもって説明しきれないので大変だと思う
				どの程度のものをするのか、最初は簡単なものから始められるのか
				消費者のほとんどは気にしていないが、やるべき
				悪徳業者の排除が目的
				必要最低限でとどめる
				物差しの提示は必要
				すべて（施工、加工、採石）と一緒にやるのはわかりにくい
				段階をわけていった方が良い
				一つひとつハードルが高い
				他団体も賛同できる形を作ってほしい
2	関連部会	山口、大塚、吉野、川本、竹ノ内、棚瀬		「こういう仕上げをしています」「加工」の表示は必要だと思った
				接着剤の施工方法、品質の正しい情報を伝える必要＋協力が必要と思った
				各々の意見を聞いていたらスピード失速がリスク。まずは大まかなベースを最優先にするべき
				メーカーが「面倒くさい」、「メリットを感じない」では進まない。いやなことではなくて、メリットを訴えたい
				表示の方法のルール作りなど、できることからやっていきませんか
				建築業界ではトラブルのもとになるのを防ぐため必ず行っている、必須である
				まずは立ち上げよう
				中国やイタリアの石を日本で加工したからと言って日本産ではない。結局伝え方の問題
				ひとりでやっている石材店でできるのか？→やらねばならない。消費者が払う金額は変わらないので
4	輸入・卸商部会	白木、吉川、米本、谷合		BtoBはどうなのか？→あまり関係ない
				産地証明書　内容があればOK
				入会していないところも守らないとおいけないのか？→その通り
				業界の半数以上は可能？
				石産協とは別に団体を作るのか？
				内容についてはこれから作るのか？
				仏壇業界の話をきいてては？
				全優石・全石協の会員さんへのアプローチは事前に打診
				できると思いますか？
5	墓石部会②	上野、三上、天野。加藤、玉田、伯井		きちんとした製品があることの証明が必要。ガイドラインが必要
				各部会ごとに議論し、決めていただきたい
				石産協がリーダーになって進めるべき
				出していないものもあるのできちんと業界で決めるべき。やった人が損をしないように

	テーブル番号	メンバー		意見
				内部でも意見が分かれる現状
				解約などを重点に。ある程度絞って
				分業が多いので全員が参加してもらいたい
				消費者にしっかり広めてもらいたいし、認知してもらいたい。その努力を
				地域差があるのでそれぞれしっかり把握
				メディを通じたアピールが必要
				とにかく信頼問題である。証明書ああれば信頼につながる
				マークなどを作って、伝えることが大切。
6	採石・加工	友常、鶴田、大川、小野、望月		まず規約を作ってそれを石産協メンバーで実績を作ってから他の組織へ投げかける（促す）べき
7	墓石部会③	福川、金子、小柴、中川、大石		本来はメーカー（加工）がやるべき
				施工に問題があれば施工業者が
				良いことだが自社への足かせになりはしないか？心配だ
				総論賛成、各論反対である
				公正は業界としては欲しい
				石屋はいかがわしい商売ではある
				消費者向きだけではなく、小売店向けへも対応して
				産地証明書は協会が出したことは評価し、次がこの公正競争規約だと思うが、独り歩きしないように
8	墓石部会④	水野、森田、能島、井口、犬塚、長江		クレームが多いのは加工、施工なのに、あまり合っていないのでは？
				人が作るものなのでルールは作りにくいのではないか
				施工の基準を作るのは難しいものではないか。建築基準法と一緒にされても困る